

J R 東日本労働組合

N A G A N O

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp



2019年 1月 8日 No. 296

JR東日本労働組合

長野地方本部

発行者：臼井幸一

編集：情宣部

第6回「青柳事故研修」を開催します！

21年前の1998年（平成10年）、長野冬季オリンピック開催中で日本、とりわけ開催地である長野県が盛り上がり、当該である長野支社がオリンピック輸送に邁進している中、中央本線青柳駅で2月9日、雪によるポイント不転換の復旧に向かった茅野駅の社員が、特急列車に触車し殉職するという大変痛ましい事故が発生しました。この事故を教訓として長野支社では2月9日を「触防の日」と制定し、会社に「触車事故防止の手引き」が整備され、今日に至っています。

事故から20年以上経っても支社内外問わず、社員や協力会社社員・パートナー会社社員が、各種現場で作業中にケガや殉職をするという、痛ましい事故が多く発生しています。昨年秋田地本で組合員が現場で殉職する悲しい事象が発生しました。

二度と悲惨な事故を繰り返してはなりません。今回の研修で実際の事故現場に立ち、亡くなった仲間のご冥福を心からお祈りするとともに、「命の大切さ」「安全の重要性」「労働組合として私たちがやるべきこと」などについて、教訓としてあらためて考え・学び、今後に活かしていく研修にします。多くの仲間の参加をお願いします。

第6回「青柳事故研修」日程

- 日 時 2019年 2月9日（土） 9：00～12：00
- 場 所 中央東線 青柳駅・金沢コミュニティーセンター
（集合場所は 青柳駅前に9：00までに）
- 内 容
 - ・安全の碑 黙禱
 - ・事故概況の説明
 - ・意見交換
 - ・まとめ

※厳しい寒さの中での研修になります。暖かい服装で参加してください！

現地に立ち、命の尊さ、事故の教訓を学ぼう！